科目ナンバリング	U-LAS40 20041 SJ26						
授業科目名<英訳>	脳と身体運動ゼミナール Seminar on Brain and Physical Movement			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　萩生　翔大		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

ヒトの身体運動は、高度な脳の運動制御能力によって支えられている。身体運動を計測してみると、一見シンプルな運動でも非常に高度な能力や戦略のもとで成り立っており、また、一見無秩序で複雑な運動でも一定の法則によって作られていることが分かる。この授業では、運動学的データや生理学的データの計測実習、また受講者との議論を通して、身体運動の仕組みや脳の運動制御能力ついて学習する。自分自身や他者の運動、また、日常動作からスポーツ・楽器演奏といった多様な運動を、運動制御学的な観点からどのように理解していくのかについても議論を深めていく。

[到達目標]

ヒトの身体運動を支えている脳の運動制御能力やその法則、戦略について、運動制御学的な観点から理解すること。また、ヒトの身体運動をどのように計測し、また計測した運動学的データや生理学的データからどのように脳の運動制御能力を抽出するのかについて理解を深めること。

[授業計画と内容]

フィードバックを含め、全１５回の授業を実施する。下記のテーマに関して、講義・実習・議論を交えながら、運動の制御・法則・学習・戦略や、その計測方法、データの見方について学習する。各テーマに関して、２～３回の授業を予定している。テーマは、受講者の興味・関心に合わせて変更する場合がある。

1. 運動の法則を測る
2. 全身運動を測る
3. 運動学習過程を測る
4. 運動戦略を測る
5. グループディスカッション

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

出席と実習・議論への参加の状況(約60%)とレポート課題(約40%)で評価する。詳細は、初回授業にて説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

脳と身体運動ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

脳と身体運動ゼミナール(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

翌週の授業のためにそれまでの授業内容を復習・確認しておくこと

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]